



私達は じゅうたく小町® です

住宅現場からのメッセージ

⑤

全国低層住宅
労務安全協議会 じゅうたく小町

副部長

所属／

大和ハウス工業㈱

本社 技術統括本部

建設デジタル推進部

DC推進1グループ



山下 絵里子

こんにちは。今回のコラムを担当するじゅうたく小町部会、副部会長の山下と申します。

私からは現場や職場での働き方のデジタル化についてお話しします。

昨今の新型コロナウイルスの影響により、仕事の仕方について見直しをせざるを得ない状況となっています。人の移動が制限されるという状況により急速にデジタル化が進み、直接自分が現地に向かなくても打ち合わせができる環境が一気に整ったと感じています。じゅうたく小町部会も今までは2カ月に1度、会議室に集まって会合を行っていましたが、現在は月に1度、オンライン上で会議を行っています。本当は実際に顔を合わせて話したいという気持ちはやまやまなのですが、別の見方をすると、オンラインならどこからでも参加できるという利点もあ

り、今まで仕事が忙しく部会に参加ができなかった人や、遠方のため会議場所まで移動する時間が取れなかった人も参加しやすくなったのではないかと感じています。このような利点を生かして、月に

る技術や、ロボットによる作業負荷の軽減など、デジタル技術を活用して現場の働き方そのものを変えていく必要性が高まっていると思います。建設業は仕事内容が特殊で、現場ごとに環境条件も異なるため、他の業種と比べてデジタル化は遅れをとっている業種です。でもだからこそ、これからさまざまな声を吸収して大きく変えていくことができる可能性を秘めているのではないのでしょうか。そこには私たちのような現場で働く女性現場監督の声も重要だと思っ

現場・働き方のデジタル化

1度の会議以外にも、定期的に若手の交流会も含め、メンバー同士の意見交換や仲間づくりの場を企画しています。広報活動においても現在の環境下の中でもできることをメンバーで企画・実施しており、昨年11月には就職を考える大学生向けに施工管理や現場監督の仕事について知ってもらうためのセミナーをオンラインで開催しました。

また、現場においてもデジタル化は急務な課題だと感じています。職方の高齢化や若者の現場離れで建設業に従事する人の数は減少の一途をたどっており、より効率的な働き方が必要になってくると思います。カメラやAIを利用した遠隔でも現場管理を可能にす



オンラインでの部会の様子（一部画像を処理しています）

ています。これからもキャリア班、環境班、広報班それぞれにおいて活動を広めていき、誰もが働きやすい現場、建設業は魅力のある仕事だと感じる人が増える未来を目指して活動を続けていきたいと思っています。



タイムスクン

次は東京都在住の広報班リーダー、竹内ふみさんです。

全国低層住宅労務安全協議会

じゅうたく小町

ホームページ

www.j-komachi.com/

